

オンライン講座
DVD 受講も可

復刻版「小池邦夫の感じる講座」

本講座は、2000年に早稲田大学の国際会議場にて開催した「続々感じる講座」の講義映像です。59歳当時のパワー溢れる言葉で絵手紙の大切な心を伝えていきます。画像や音声の乱れがありますが、一人でも多くのかたに小池邦夫の講義を体感いただければ幸いです。

5月号・6月号
小池邦夫特集号も
併せてご覧ください



特別定価 各1,000円
(税込・送料1冊につき100円)
いつもより増頁120頁

みんなで見よう!速写しよう! 「講座上映会」も開催!

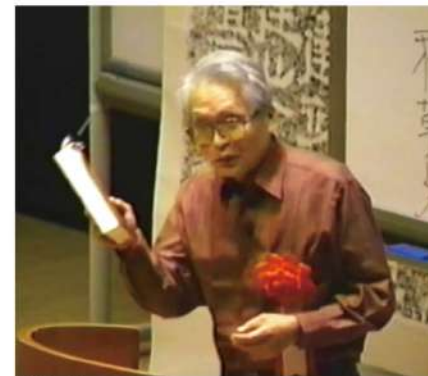
日時:8月30日(金)11時~12時
会場:東京・大阪 絵手紙ホール(85頁)にて

- ◎オンライン講座と同じ内容を各会場で上映します。
- ◎「上映会参加希望(〇〇会場)」と明記の上、オンライン講座とセットでお申込みください。
- ◎オンラインで見てから上映会に参加しても、上映会のみでの参加でもOK。パソコンなどが苦手な方もぜひこの機会にご受講ください。
- ◎オンライン受講料のみで参加でき、上映会参加の追加料金はかかりません。(申込み先着順。応募者多数の場合、午後の回を増設しご案内する場合があります)

小池邦夫の熱い言葉を浴びながら、あなたも速写にチャレンジ!

配信期間
2024年
7月9日(火)~9月2日(月)

受講料
『月刊絵手紙』
定期購読者 3,500円(税込)
定期購読者以外 4,000円(税込)
講座DVDのレンタルもあります。受講料+500円(税込)
※返送料お客様負担 ※先着60名まで
お申込み・詳細は72頁をご覧ください



講演の様子

受講生 募集中!

66

◎阿部祥子のどんどん動いてどんどんかいてどんどん学ぼう
「エッセイを書いてみよう」
◎兼右幸恵の小さくても一歩
「はじめに気持ありき」
◎報告 絵手紙交流inフイレンツエ2023

◎日本絵手紙協会からのお知らせ
68 あなたも公認講師を目指しませんか?
69 募集 2024年度 本入会「絵手紙友の会」
72 講座のご案内
74 あなたの街の絵手紙情報展・体験
76 投稿の募集要項

78 小池邦夫絵手紙美術館「ニュース」
80 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより
82 日本絵手紙協会・推薦教材
84 ボランティア部からのお知らせ
85 日本絵手紙協会へのアクセス
86 「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記
87 『月刊絵手紙』定期購読のご案内
88 ご注文方法

次号予告 報告・絵手紙友の会in高松

陶芸家リサ・ラーソン

56

◎小池邦夫の絵手紙教室
どうか皆さん線のトレーニングを続けてください

54

essay アーサー・ビナード

34

読者投稿ひろば
テーマ「ガラス」

33

木もれ日「絵手紙とメロン」 竹内久美子

32

山田喜代春の詩画世界

30

手紙のヒント 中川 越

28

自分の道を歩く——相田みつをの言葉

26

柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

06

特集 會津八一に学ぼう

04

登坂和雄の一語一絵(装)

01

古拙微笑

巻頭ことばの旅

もくじ

月刊絵手紙2024年7月号

(日本絵手紙協会協賛)小池恭子さんのラジオ番組「絵手紙さろん」
狛江市のコミュニティFM「コマラジ」にて放送中(毎月第4土曜13時より)。
放送翌日「You Tube」配信あり。



コマラジ



公式Instagram
etegami_salon



日本絵手紙協会の
公式ホームページ



公式Instagram
etegami_society



公式X(旧Twitter)
@Etegami_Society

特集

あいづ やいち

會津八一に

絵手紙の線の練習でおなじみの、たて・よこ・うずまき。これは會津八一の書についての考え方を元にして、小池邦夫が絵手紙に取り入れたものです。また八一が学生たちに伝え続けた「千の文献よりも一つの実物である」という実際に見て学ぶ「実学」の考え方も絵手紙の大きな柱となっています。八一の学ぶ姿勢に共鳴した小池邦夫。その小池邦夫の絵手紙を楽しむ皆さんは、八一から何を受け取るでしょう。

学ぼう

たて

よこ

奈良

うずまき

活字に学べ

備

実学

瓦当



読者投稿

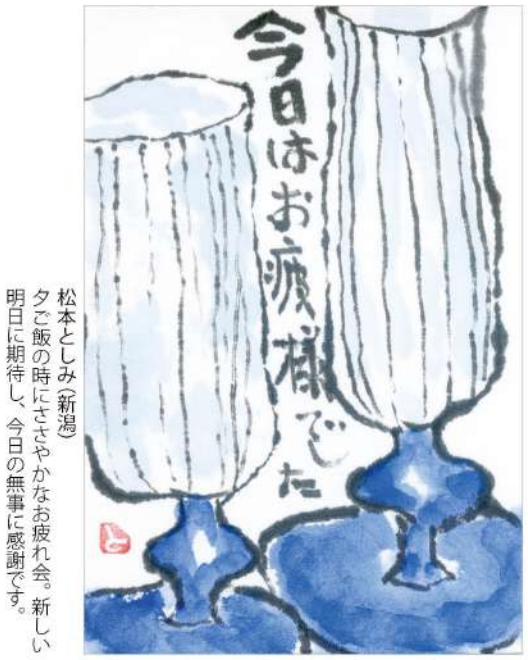
かいて、送って、
みんなでおしゃべり！

ひろば

テーマ「ガラス」

日用品から装飾品まで、私たちの暮らしの中には
“ガラス”がいっぱい！感じた魅力を絵手紙にのせて

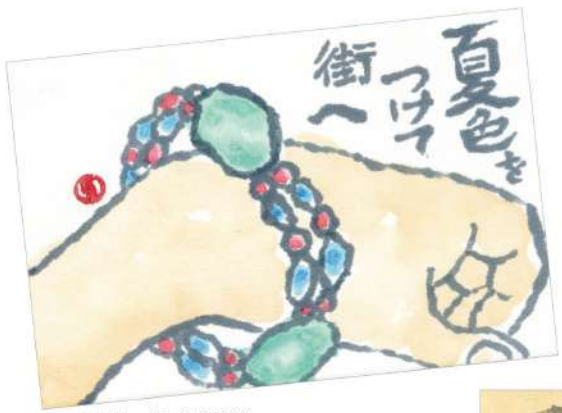
自由絵手紙／なんでも100字／
5月号小池邦夫特集「動かなければ出会えない」を読んで／活動報告



松本としみ(新潟)
夕ご飯の時にささやかなお疲れ会。新しい
明日に期待し、今日の無事に感謝です。



宇貝千代子(東京)
可愛い瓶は捨てられず、花を活けて楽しめます。



下村いくよ(北海道)
ずいぶん前に買ったガラスビーズ
のプレスレット。さわやかな色合い
が気に入ってます。



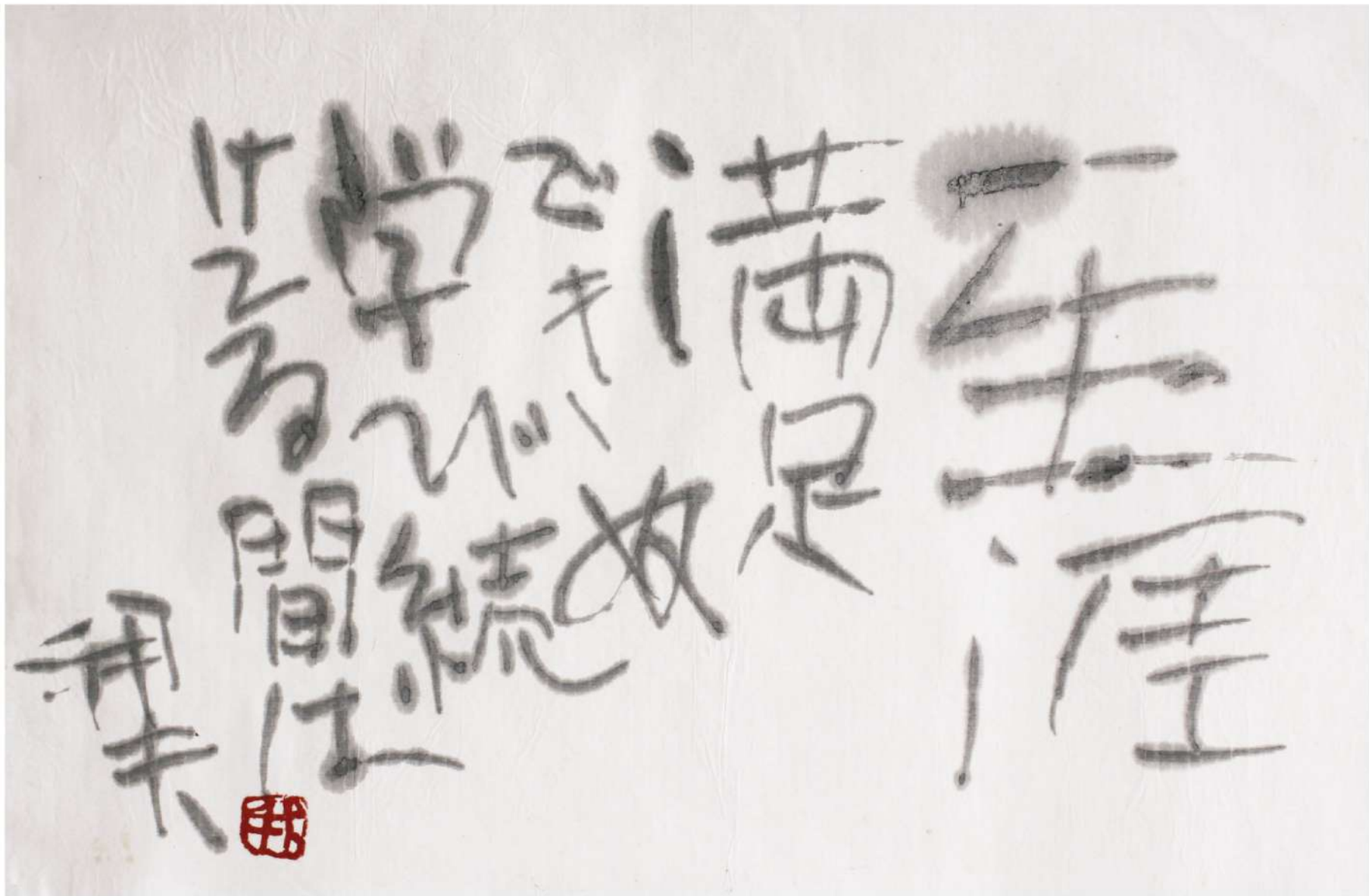
佐藤正子(青森)



都築徳子(宮城)
空がきれいな日はなんだかワクワクしますね。
得した気分！



外池美里(64歳・滋賀)
甘くて真っ赤なお酒です。後から渋味が
追いかけてくるのが好き。おいしいよ。



誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう

こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。